

エルニーニョとラニーニャが高知県の気温と降水量に与える影響：夏季、冬季の解析

The influence of El Nino and La Nina on temperature and precipitation in Kochi during
summer and winter seasons

1180232 高山椰子

Takayama Yako

エルニーニョ現象やラニーニャ現象が高知県の夏、冬の気温と降水量にどのような影響を及ぼすのかそれぞれ調べた。気象庁が定義しているエルニーニョ監視海域を細分化し、NINO. 3, 4 海域(北緯 5 度～南緯 5 度、西経 170 度～120 度)で、海面水温偏差値の上位 20%である $+1.5^{\circ}\text{C}$ 以上を強いエルニーニョ、 $+1.5\sim+0.5^{\circ}\text{C}$ を弱いエルニーニョ、 $+0.5\sim-0.5^{\circ}\text{C}$ を平常月(平年)、 $-0.5\sim-1.4^{\circ}\text{C}$ を弱いラニーニャ、下位 20%である -1.4°C 以下を強いラニーニャとして、1950 年から 2016 年のエルニーニョ・ラニーニャ年で季節平均気温と季節平均降水量が平年値とどれくらい差があるか、夏と冬の二季節で解析した。その結果、エルニーニョ年の夏ではエルニーニョが強い(弱い)ほど気温は低く(高く)なり、強い(弱い)ほど降水量は多く(少なく)なった。反対に冬はエルニーニョが強い(弱い)ほど気温は高く(低く)なるが、降水量においては夏と同様に、強い(弱い)ほど多い(弱い)ことが分かった。また、ラニーニャ年では夏・冬ともに、ラニーニャが強い(弱い)ほど気温は高く(低く)なり、強い(弱い)ほど降水量は多く(少なく)なるという結果になった。以上のことから、高知県のエルニーニョ年では冷夏多雨、暖冬多雨になり、ラニーニャ年では暑夏多雨、暖冬多雨になることが示された。